

モンゴル

モンゴル経済は、国内の鉱物資源開発への内外の投資によって、引き続き加速を続けている。経済成長率は二桁を維持し、鉱工業生産額、貿易総額は引き続き増加している。一方でインフレ率は二桁のレベルとなっており、為替レートは減価の傾向にある。失業者数は高い水準に止まっており、貿易収支の赤字は1～11月期において、史上最高を記録した。

マクロ経済指標

2011年10月の鉱工業生産額は前年同期比13%増、11月は同13%増となった。1～11月期は同10.4%であった。部門別では、鉱業が前年同期比11.1%増、製造業は同10.9%増、エネルギー・水供給部門は同5.4%増であった。鉱業部門の生産の大部分は石炭及び原油採掘に関連しており、石炭の生産額は前年同期比6.8%増、原油の生産額は同12.1%増であった。1～11月期の石炭の生産高は2,780万トンで、このうち66.5%にあたる1,850万トンが輸出された。原油の生産高220万バレルで、国内に製油所が存在しないため、この全量が輸出されている。

1～11月期のモンゴルの貿易相手先は123か国で、貿易総額は103億ドルで、前年同期のほぼ2倍となった。輸出額は前年同期を70%上回る43億ドル、輸入額は前年同期を2倍以上となる60億ドルであった。貿易収支の赤字額は史上最高の17億ドルとなった。輸入額の急速な拡大は、数年以内に生産開始を予定し現在進行中の鉱山プロジェクトに用いる鉱業用設備、機械類の輸入の増加によるものである。

11月末時点の外貨準備高は23億ドルで、これはモンゴルの輸入金額の4.6か月分に相当している。

消費者物価上昇率は、10月末に前年同期比10.9%、11月末に同10.8%であった。消費者物価指数（CPI）は前年同期比0.3%低下した通信・郵便サービスを除く全ての部門で同2.5～16%上昇した。

対米ドル為替レートは、世界金融危機の影響で2009年3月に1ドル＝1,563トゥグルグという最安値を記録してから、長く増価傾向のトレンドにあった。しかし最近、減価の傾向に転じており、11月の為替レートは1ドル＝1,323トゥグルグで、前年同期の同1,274トゥグルグから約4%減価している。トゥグルグは、主要な貿易相手先の通貨である、中国人民元、日本円、韓国ウォン、ロシアルーブルに対してもそれぞれ減価している。

鉱工業部門の高い生産額にも関わらず、登録失業者数は引き続き高い水準にあり、11月末に62,700人となっている。これは前月までよりも相対的に高くなっているが、これは11月

から導入された新たな登録方法によるものであり、より実態を反映した数値といえる。これまではウランバートル市及びその他の地方行政機関の労働福祉部門に登録した失業者のみを、登録失業者数の対象としてきたが、11月からはモンゴル中央労働斡旋局及び民間の労働紹介所に登録した失業者も含まれるようになっている。一方、国家統計局は1～11月期に68,100の新たな雇用が創出されたとは発表している。

国家財政収支は10月に470億トゥグルグ、11月に1,430億トゥグルグのそれぞれ赤字であったが、1～11月期通算では470億トゥグルグの黒字となった。1～11月期の財政収入は前年同期を53.8%上回り、財政支出は同じく前年同期を41%上回った。10月、11月の大規模な支出は、補助金・給付金、資本投資、財・サービスの購入、純貸し付けの大幅な伸びによるものである。

2011年モンゴルの10大経済ニュース

(1)株式の分配

政府は2011年4月1日以前に生まれた国民全員に対し、埋蔵量65億トンのコークス炭の鉱山を保有するエルデネス・タバン・トルゴイ社の株式を、一人536株、無償で支給した。こうした政策がとられるのはモンゴル史上二度目のことである。最初の国有資産の分配は1991年に行われ、全国民に1人10,000トゥグルグに相当するクーポンが配布された。

(2)月間最低賃金の引き上げ

2011年4月、労働社会問題に関する三者委員会の合意により、月間最低賃金が30%引き上げられ140,400トゥグルグとなった。公務員及び国営企業従業員の賃金は、これに先んじて2010年10月に30%引き上げられている。

(3)株式市場の改革

モンゴル証券取引所(MSE)はロンドン証券取引所(LSE)との間に、株式市場の改革に関する協力の協定を結んだ。この枠組みにしたがって、投資家及び企業の取引費用を引き下げる「ミレニアムIT」というプログラムが導入される。これによりMSEはロンドン及びトロントの株式市場と24時間接続される。さらに将来は他の国際市場との接続も考えられている。このプロジェクトには法律及び規制の見直し、国内関係者の能力向上プログラムが含まれる。政府はこのプロジェクトに1,420万ドルを支出する予定である。

(4)燃料危機

モンゴルは年間およそ100万トンの燃料類を消費し、その全てをロシアのロスネフチ社から購入している。2011年

初頭、ロスネフチ社は突然、モンゴルの必要とする燃料の全量を供給することが困難となる可能性があるとの声明を発表。モンゴルはディーゼル燃料を中心とする燃料危機に陥った。投機的取引によりディーゼル燃料の価格は高騰し、春の農耕期における必要な燃料の不足は、食料安全保障面の懸念を生じさせた。政府はこれに対する対策として、臨時に燃料に対する売上税を引き下げ、燃料の購入先をロスネフチ社1社から、ガスプロム社、ウラルネフチ社、中国などに広げた。さらに政府はドルノド地区、ドルノゴビ地区、ダルクハン市に、製油所を建設することを決定した。

(5)モンゴル開発銀行 (DBM) の設立

2011年5月、モンゴル史上初となるモンゴル開発銀行 (DBM) が営業を開始した。政府はDBMに8,000億トゥグルグの債券の発行を許可した。韓国開発銀行はDBMの国際入札プロセスの管理を行った。DBMは6億ドルの債券を発行するためにシンガポール証券取引所に登録を行った。DBMはオランダのING社から2,000万ドルの低利融資を受けた。この資金は鉄道建設プロジェクトに融資される予定である。

(6)関税収入が1兆トゥグルグ

史上初めて関税収入が1兆トゥグルグに達した。これは2011年9月22日に達成され、予定額を38%上回った。モンゴルの貿易額は9月までに前年同期を88%上回る710億ドルに達した。このうち輸入は420億ドルで、前年同期の2倍以上を記録した。

(7)第一次大規模投資プロジェクト開始

政府が指定した2020年までに優先される26の大規模プロジェクトのうち、3件が開始された。

- ①米国のベクテル社から提案されたサインシャンド工業団地のフィジビリティスタディー。予備的試算ではプロジェクトの総費用は54億ドルと見積もられている。モンゴルの二つの企業が鉄及び銅の精錬工場の建設に関わる活動を開始。
- ②総延長5,600kmとなる3段階の新鉄道建設プロジェクト

が開始。国有の「モンゴル鉄道」は来年、香港証券取引所で株式を新規公開の予定。

- ③ヤーマン住宅団地の建設。10万戸規模の政府プロジェクト。DBMの保証により中国輸出入銀行から3,000億トゥグルグの融資を受け、来年開始される。年利6%の個人向け住宅ローンの実施を決定 (モンゴルの一般的な商業銀行の融資金利は年15%程度)。

(8)「Metals Mongolia-2011」開催

2011年11月3～4日、モンゴルの金属鉱山業界にとって初めての行事となる「Metals Mongolia-2011」フォーラムが開催された。モンゴルは10億トンの鉄鉱石の埋蔵量を確認されており、年間330万トン中国に輸出している。しかし、現状では鉄鉱精練工場が1カ所と、スクラップを原料とする製鉄所が1カ所、それぞれ稼働しているのみである。フォーラムではモンゴル国内でのレアアースの調査の可能性についても議論がなされた。

(9)2011年の外国首脳訪問

2011年にモンゴルを公式訪問した主な外国要人は下記のとおり。アンジェラ・メルケルドイツ首相、ジョー・バイデン米国副大統領、バラティバ・パティルインド大統領、タージャ・ハロネンフィンランド大統領、周永康中国共産党中央政治局常務委員、パオロ・ロマーニ前イタリア経済開発相、楊潔篪中国外相、別所浩郎外務審議官 (日本)。

(10)2012年の国家予算の投資額は倍以上に

2011年11月30日、モンゴル国会は2012年度国家予算を承認した。歳入は4兆6,300億トゥグルグ、歳出は4兆8,600億トゥグルグで、財政赤字はGDPの3%に相当する見込みである。このうち資本支出は2兆4,000億トゥグルグ、さらにその内の1兆5,000億トゥグルグが政府投資額となる。これは2000～2007年の平均政府投資額のほぼ2倍に相当する。総投資額の40%は道路交通都市開発省が支出する。

(ERINA調査研究部主任研究員 Sh. エンクバヤル)

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年1-11月	2011年1Q	2Q	3Q	10月	11月
実質GDP成長率 (対前年同期比: %)	7.3	8.6	10.2	8.9	▲ 1.3	6.4	—	9.9	17.3	20.8	—	—
鉱工業生産額 (対前年同期比: %)	▲ 4.2	9.1	9.7	2.8	▲ 3.3	10.0	10.4	7.2	13.1	8.4	13.0	14.0
消費者物価上昇率 (対前年同期比: %)	9.5	6.0	15.1	22.1	4.2	13.0	10.8	8.0	6.2	10.5	10.9	10.8
登録失業者 (千人)	32.9	32.9	29.9	29.8	38.1	38.3	62.7	40.8	41.7	40.7	39.4	62.7
対ドル為替レート (トゥグルグ)	1,205	1,180	1,170	1,169	1,437	1,356	1,256	1,246	1,238	1,248	1,292	1,323
貿易収支 (百万USドル)	▲ 113	107	▲ 114	▲ 710	▲ 229	▲ 292	▲ 1,663	▲ 346	▲ 387	▲ 612	▲ 219	▲ 100
輸出 (百万USドル)	1,064	1,542	1,948	2,535	1,903	2,909	4,304	742	1,251	1,489	307	515
輸入 (百万USドル)	1,177	1,435	2,062	3,245	2,131	3,200	5,967	1,087	1,638	2,101	526	615
国家財政収支 (十億トゥグルグ)	73	123	133	▲ 306	▲ 329	2	47	104	▲ 5	138	▲ 47	▲ 143
国内貨物輸送 (百万トンキロ)	10,268	9,693	9,030	9,051	8,981	12,125	—	3,063	4,147	5,052	—	—
国内鉄道貨物輸送 (百万トンキロ)	9,948	9,226	8,361	8,261	7,817	10,287	10,390	2,250	2,966	3,182	1,085	906
成畜死亡数 (千頭)	677	476	294	1,641	1,733	10,320	—	258	248	19	—	—

(注) 消費者物価上昇率、登録失業者数は期末値、為替レートは期中平均値。

(出所) モンゴル国家統計局『モンゴル統計年鑑』、『モンゴル統計月報』各号ほか